

様式第7の3 (第5条の3関係)

移送取扱所変更許可及び仮使用承認申請書

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 管理者 (2)		(1) 年 月 日	
殿		申請者 (3)	
		住所 (電話)	
氏名			
設置者 (4)	住所	電話	
	氏名		
変更の内容		変更前	変更後
設置場所 (5)	起点		
	終点		
	経過地		
配管 (6)	延長	km	km
	外径	mm	mm
	条数	条	条
設置の許可年月日及び許可番号		(7) 年 月 日 第 号	
危険物の類、品名 (指定数量) 及び化学名又は通称名 (8)			
指定数量の倍数 (9)			
危険物の移送量 (10)		kl/日	kl/日
ポンプの種類等 (11)	種類・型式		
	全揚程	m	m
	吐出量	kl/時	kl/時
	基数	基	基
その他の位置、構造及び設備		(12)	
着工予定期日		(13)	
完成予定期日		(14)	
その他必要な事項		(15)	
※ 受付欄		※ 経過欄	
		許可年月日 許可番号	
仮使用の承認を申請する部分		(16) 別添図面のとおり	
※ 受付欄		※ 経過欄	
		承認年月日 承認番号	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 この申請書は、移送取扱所について、変更許可申請と仮使用承認申請を同時に行う場合に用いるものであること。
 3 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 4 設置場所の欄中、起点及び終点の欄には、起点又は終点の事業所名を併記し、経過地の欄には、配管系が設置される市町村名を記入すること。
 5 品名 (指定数量) の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に () 内に該当する指定数量を記載すること。
 6 ※印の欄は、記入しないこと。
 7 総務大臣に申請する場合は、収入印紙 (消印をしないこと。) をはり付けること。

危険物製造所等変更許可及び仮使用申請書記入要領

項 目	記 入 内 容
(1)年月日	申請書を提出する年月日を記入します。
(2)宛先	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 管理者 <u>気仙沼市長 ○○○○ (氏名)</u> と記入します。
(3)申請者	申請者は原則として設置者の住所、氏名と同一とします。(申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付します。)
(4)設置者	設置者は登記上の住所、会社名、職、氏名、電話番号を記入します。
(5)設置場所	設置場所は危険物施設が敷設される、起点、終点の所在地と経過地である市区町村を記入します。
(6)配管	配管の延長、外径、条数を記入します。
(7)設置の許可年月日及び許可番号	当該危険物施設の設置許可年月日・番号を記入します。
(8)危険物の類、品名(指定数量)及び化学名又は通称名	危険物の類、品名(指定数量)及び化学名又は通称名は、法別表に掲げる類、品名を記入します。 (例) 第4類 第1石油類(200L) ガソリン 最大数量は、貯蔵し又は取り扱う危険物の最大数量を記入します。
(9)指定数量の倍数	指定数量の倍数が少数第3位以上となる場合は、当該位を切り捨て少数第2位まで記入します。
(10)危険物の移送量	1日に移送する危険物の量の合計を記入します。
(11)ポンプの種類等	ポンプの種類・形式(設置するすべての種類のポンプを記入)、全揚程(吸入面から吐出口まで)、吐出量(時間当たりの量)、基数(種類ごと)を記入します。
(12)その他の位置、構造及び設備	位置、構造、設備の変更項目を記入します。
(13)着工予定期日	着工予定期日は、許可後即日又は許可後何日と記入します。
(14)完成予定期日	完成予定期日は、許可後何日又は着工後何日と記入します。
(15)その他必要な事項	特記すべき内容を記入します。
(16)仮使用の承認を申請する部分	別添図面のおりと記入し、仮使用の範囲及び工事に必要な範囲を示した平面図等を添付します。

※各欄の記入事項を別紙にて添付することもできます。その際、別紙のおりと記入します。